



色づいた落ち葉に心躍る3歳児。秋ならではの一コマ

いつもより少し早く幼稚園に到着した朝。どこからかただよ
甘い香り。今朝一番に気づいたことがなんだかうれしい。そう、
これこれ。ちょうどいい感じに秋が深まりはじめる頃に、咲いて
いることを小さな花より先に香りで教えてくれるキンモクセイ。
一つ一つはとっても小さな花なんだけれど、小さな花が集まる
ことでパワー開放って感じ…。まるで子供たちみたいに。

「ステキな秋を見つけたよー！」と、みんなに教えたくなくて、
いい気分で一日が始まります。実りの秋、食欲の秋、スポーツ
の秋、行楽の秋、芸術の秋、読書の秋、…。

みなさんはどんな秋を楽しんでいますか？

風の子便り



KAZENOKO DAYORI

滋賀大学教育学部附属幼稚園



そう！あこがれは成長の原動力！

運動会を終えて、もっと！と、元気いっぱいに踊ったり、
走ったりすることを楽しんでいる子供たち。運動会ではたく
さんのお客さんがいたからか、ちょっぴり恥ずかしかったり、
照れちゃったりしていた子供たちも、のびのびと体を動かして
ダンスを楽しんでいます。広い園庭で何度もかけっこを
楽しんでいる3歳児の姿を「ながいきくん」（大くすのき）
が見守っています。

5歳児のリレー遊びに4歳児も混ぜて笑顔いっぱいで走っています。何度もいつまでも延々と続くリレー遊び、
楽しくて、うれしくて、「**なんだか大きい組になったみたい**」
と、感じている様子の4歳児。

うれしくてふざけて走ってしまう子を激励したり、順番を
間違ってしまったらフォローしたり…。たいへんさの中にも
手ごたえを感じているようで、「**はあっ！もう、小さい子が
いるとたいへんっ！**」と、笑顔☺で報告するAさん。

幼稚園の子供たちみんなと一緒に楽しむことができた
運動会。憧れや手応えは成長の原動力、まだまだ続く
運動遊びに、熱く心を燃やしている子供たちです。



「ことば遊び」は地頭力を鍛えるかも

じあたまりよく

かんがえる
くふうする



Bさん「じゃあクイズね。私のパパは何歳でしょう」
先生「え〜と…。これはむずかしいですねえ…」
Bさん「そりやむずかしいよ。だから『クイズ』なんだよお」
なるほど、そりやあそくだ。うまいこと言うなあ。(^-^；
遠足に向かうバスの車内。5歳児の子供たちは様々な
ことば遊びに興じています。クイズ、しりとり、連想ゲーム、
言葉の体験がとても豊かだと感じます。なるほど、子供た
ちが互いに思いを伝えあって遊びや生活を進めていく力
の源はここにあるんだ！と納得！

言葉は身近な人とのやり取りから学んでいくものですから、
家庭でも子供たちとの会話を大切にされているんだろ
うなあと感じます。いつもありがとうございます。

「しりとり」は、知っているものが多いほど楽しめます。
「連想ゲーム」は、物事の特徴や共通項を見つけ出す
楽しさがあります。

思考力や想像力は「ことば」を支えにして広がり、深ま
っていくと考えている私は、こういう日常のことば遊びが
「**地頭力**」（頭の地力…みたいなもの）を鍛えていくの
ではないかとふんで、大切にしたいと
考えているのです。





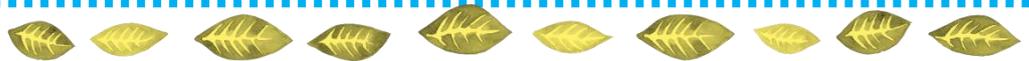
～副園長のおしゃべり～

多様な人・もの・ことと出会い→「見る・聞く」→「知る」→「関心をもつ」→「想像する」→「行動する」→…

体験的・探究的な学びのサイクルはこのような感じです。「想像する」と「行動する」の間に、『仲間とともに』『よりよくなることを願って』なども入ってくるかもしれません。SDGsや人権、子どもの権利条約などへのアプローチも同様ではないかと考えます。園内ではいたるところに「学びのサイクル」を意識した環境があり、生活が展開されています。

学び・生活の主体者として大切なのは「関心をもつ」「想像する」「行動する」あたりかなあと思います。そう考えると幼児のあくなき想像力や探究心は持続可能な未来の創り手となるマストアイテム！そうだ！何でもやってみよう！やってみないとわかりっこない！と、子供に負けじと、当たり前を見直し、考え、工夫して、保育に取り入れていく。なんだ、先生たちがいつもやってることじゃん！わが園の保育は確実にSDGsにむかっている、はず。かもしれない…。

季節のアルバム



憧れのリレーに仲間入りする4歳児。順番を待って、走ることを楽しみにしています。何度も楽しむことでルールがわかり、体力も向上！

『彼岸花』秋の自然をモチーフに描画活動「知ってる！」「咲いてたよ！」身近な自然により思いを寄せてのびのびと描くことを楽しむ。

中秋の名月、芋満月、秋の月はひときわ美しいものです。ロマンチックにイメージを広げてお話を楽しみながら描くことを楽しむ。



4,5歳児を対象に運動能力測定を行いました。幼児の体力向上は、自身の安全管理や危機回避能力にもつながると考えています。

大縄跳び、先生に回してもらっていたけれど、先生がいなくなったら…。自分たちで回す。もっとしたい！が工夫に！ステキな遊びです。

みんなでまいたタネからいっぱい芽が出てきたよ！驚きや喜び、自然への興味と「食」との関わり。栽培活動には沢山の学びがあります。

じつは幼稚園で白菜を育てている。私が育てているが、子供たちと観察し、できたら持って帰ってもらいたい。花や野菜を育てる勉強は一年に一回、その時期にしかできないのが難しいところ…。例年とは異なる気候でもあり、『高価な肥料』でなんとかしてやろうという卑しい心持ちで育てている…。

「秋の食べ物」といえば！ コメントお待ちしております



お名前 _____